

問1 16世紀半ばにキリスト教が日本に伝えられた当時の社会情勢や、その後の歴史的経緯について述べた文として、最も適切なものはどれか。

(2020年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 当時の日本は鎖国体制が完成しており、ヨーロッパ諸国のうちイギリス一国とのみ、長崎の出島で貿易を行っていた。 | 2. フランシスコ・ザビエルによる布教以降、南蛮貿易の利益を求める戦国大名の中には、キリスト教に入信するキリシタン大名が現れた。 | 3. 織田信長は仏教勢力との対抗を優先し、キリスト教の布教を厳しく禁じてキリスト教徒を弾圧した。 | 4. 豊臣秀吉は海外貿易の利益を重視し、バテレン追放令を出した後もキリスト教徒を一貫して手厚く保護し続けた。 |
|--|--|--|--|

問2 鉄砲の伝来がその後の日本の戦い方や社会に与えた影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 武士個人の技術がより重視されるようになり、刀や弓矢による一騎打ちが増加した。 | 2. 集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。 | 3. 外国との交易が危険視されたため、すぐに鉄砲の使用や製造が全面的に禁止された。 | 4. 鉄砲の製造が困難であったため、一部の特権階級のみが儀礼用として保持した。 |
|---|--|---|---|

問3 16世紀半ば、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが日本を訪れ、キリスト教を伝えた当時の世界情勢に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. ヨーロッパで宗教改革が起こり、勢力を立て直そうとするカトリック教会が海外への布教を積極的に進めていた。 | 2. ルネサンスによる科学の発達により、日本の戦国大名から西洋の進んだ宗教や文化を導入したいという正式な要請があった。 | 3. 宗教改革によって誕生したプロテスタントの諸国が、アジアにおける植民地支配を広めるために宣教師を派遣していた。 | 4. 十字軍の遠征が成功したことで、キリスト教勢力がイスラム教勢力を圧倒し、アジア全域での布教が容易になっていた。 |
|--|---|---|---|

問4 武士に関わる法律の歴史について、鎌倉時代に北条泰時が制定した「御成敗式目」、江戸時代に幕府が大名を統制するために制定した「武家諸法度」、そして戦国時代に各大名が領国支配のために制定した法律を順に並べたものとして適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1. 御成敗式目 - 分国法 - 武家諸法度 | 2. 武家諸法度 - 分国法 - 御成敗式目 | 3. 分国法 - 御成敗式目 - 武家諸法度 | 4. 御成敗式目 - 武家諸法度 - 分国法 |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|

問5 1543年に九州南部の種子島にポルトガル人が漂着した際、日本に初めて伝えられた武器について、その後の歴史に与えた影響として正しいものはどれか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 戦い方が騎馬による一騎打ちから、足軽による集団戦へと変化し、城の構造も堅固な石垣を持つものへと変化した。 | 2. この武器の伝来をきっかけに、日本独自の武術である剣術や弓術が廃れ、すべての合戦がこの武器のみで行われるようになった。 | 3. 鎌倉時代にモンゴル帝国が襲来した際、日本の武士が防衛のためにこの武器を組織的に使用して撃退した。 | 4. この武器の輸入を目的として、室町幕府の足利義満によって明との間で勘合貿易が開始された。 |
|---|---|---|--|

問6 16世紀のヨーロッパでは、既存の教会のあり方を批判する動きから宗教改革が起こり、新教とも呼ばれるプロテスタントが誕生しました。この宗教的な対立が、当時のポルトガルやスペインといったカトリック諸国の海外進出にどのような影響を与えたか、最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 宗教改革によってキリスト教の権威が失墜したため、ヨーロッパ諸国は布教を目的とした海外進出を完全に停止した。 | 2. カトリックとプロテスタントの両勢力が協力体制を築き、イスラム教圏を回避するための新しい航路を開拓した。 | 3. プロテスタントの勢力拡大に直面したカトリック側が、失った勢力を回復するために海外での布教活動を強化した。 | 4. プロテスタント諸国が海外進出を独占したため、カトリック諸国は布教よりも国内の防衛を優先させた。 |
|--|--|---|--|

問7 戦国時代において、戦国大名が自らの領国内の秩序を維持し、家臣や民衆を統治するために独自に制定した法律を何と呼びますか。江戸時代に幕府が定めた武家諸法度とは異なり、各大名が自分の領土の実情に合わせて定めたものを指します。 (2021年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|----------|-----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 分国法 | 3. 御成敗式目 | 4. 公事方御定書 |
|----------|--------|----------|-----------|

問8 日本地図において、中国地方の日本海側に面した島根県に所在し、かつて「灰吹法」という技術を導入して生産量を飛躍的に高めた銀山を次の中から選びなさい。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 石見銀山 | 2. 足尾銅山 | 3. 富岡製糸場 | 4. 生野銀山 |
|---------|---------|----------|---------|

問9 1549年に鹿児島へ上陸し、日本に初めてキリスト教を伝えたイエズス会の宣教師は誰か。 (2017年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------|----------------|------------|------------|
| 1. ルイス＝フロイス | 2. フランシスコ＝ザビエル | 3. マテオ＝リッチ | 4. ヴァリニャーノ |
|-------------|----------------|------------|------------|

問10 戦国大名が領地の生産力を高め、軍事力を強化する(富国強兵)のために行った政策の説明として、正しいものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 領内の商人を城下町に集めるのではなく、各地の農村に分散させて住まわせることで、地方経済の安定を図った。 | 2. 大規模な治水・灌漑工事を行って新田開発を進めるとともに、金山や銀山などの鉱山開発を積極に行った。 | 3. 農民に「五人組」を組織させて連帯責任を負わせることで、年貢の納入を確実なものにしようとした。 | 4. キリスト教の布教を全国的に推奨することで、ヨーロッパの先進的な武器や文化を組織的に取り入れようとした。 |
|--|---|---|--|

問11 応仁の乱ののち、各地に登場した戦国大名が、自らの領内の武士や農民の行動を厳しく取り締まり、領地の安定と統治を強めるために独自に制定した法律を何といいますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|----------|----------|-----------|
| 1. 分国法 | 2. 御成敗式目 | 3. 武家諸法度 | 4. 公事方御定書 |
|--------|----------|----------|-----------|

問12 戦国大名が制定した「分国法」の内容や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--------------------------------------|
| 1. 領国を独自に統治するため、家臣同士の喧嘩を両者とも処罰する規定などを盛り込んだ。 | 2. 鎌倉幕府が御家人同士の土地争いを公平に裁判するために、源頼朝以来の先例をまとめた。 | 3. 江戸幕府が全国の大名を統制するために、城の修理を制限することなどを目的とした。 | 4. 明治政府が近代的な国家を樹立するために、国民の権利と義務を定めた。 |
|---|--|--|--------------------------------------|

問13 1549年にフランシスコ・ザビエルが日本に上陸し、キリスト教を伝えた背景には、当時のヨーロッパにおける宗教情勢が深く関わっています。キリスト教が日本に伝えられるに至った直接的な背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. ルネサンスの進展によって人間中心の考え方が広まった結果、宗教の枠組みを超えた世界規模の文化交流が推奨された。 | 2. ルターが自身の教えを世界に広めるために組織を設立し、その活動の一環として日本が最初の布教先選ばれた。 | 3. 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。 | 4. 十字軍の遠征が失敗に終わったことで、キリスト教徒がイスラム教勢力に対抗するための同盟国を東アジアに求めた。 |
|---|---|---|--|